



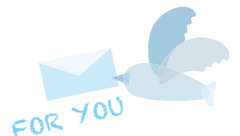
便り

もしも〇〇だったら

長寿100年時代となってきた。健康で自立していればのことであり、医療費を使い若者に負担をかけて長生きしてもね。私はあと17年で100歳となる。今のところ元気で、ひとり暮らしをしている。訪ねるところもあり、訪ねてくれる友もいる。この分なら、もし100まで生きて大丈夫よな。(名華女)

久しぶりにあった友人が、「あの頃は良かったなあ。もしも若返る事ができたら良いのに…」と話し出した。「う…うん」と返事をしたけれど、私は少しも若い頃には戻りたいとは思わない。シワや白髪が目立つけど、やっとここまできたという。私は今が最高です。(すみちゃん)

人の出会い方に驚くばかり。車で友人を待っていると、男性が初対面らしい女性に声をかけて、連れ立って行く。もしや、マッチングアプリ？ 事前に条件をクリアした人と会える便利さがある。怖さも背中合せだけど、もし私がシングルなら、そんなスリルも味わってみたい。(こぼり)



No.74



△ハモン博士のまとめ

「もし〇〇だったら」と考えるときは、仮定や想像の世界を楽しく思い描く場合と、後悔や反省で使う場合とがある。「もし」は、仮にであって現状や現実ではない。未来を想像する、仮を想定する、過去を振り返る、どれも人生において必要な「もし」じゃ。後悔や悲観の「もし」ではなく、なるべく楽しい「もし」を使いたいもんじゃな。



問合せ
大口町NPO登録団体ハモン
☎95-1691

もしも死んだら、50年後、100年後に自分のことを思ってくれる人はいるだろうか。一般庶民の自分は家族くらいしかあてはない。息子に「俺の親父はこんな人だった」と孫や曾孫に語ってもらえる親父になろう。盆と正月くらいは思い出ししてもらえよう。(俺)

もし猫だったら、飼い主に可愛がってもらい三食昼寝付き。いや、野良猫だと生存競争が厳しくて大変だ。もし鳥だったら、空を気持ちよく飛べて自由でいい、けど体力いりそう。桜の木なら、花を咲かせるのは1年に一度でいいし喜んでもらえる。でも、動けない、毛虫がまとわりつく…。「もし」を考えるほど人間が一番かな。(チャーミー)

Be Ambitious

vol.337

大口町出身の 20代の皆さんがリレーで登場!

日々精進



町田 翔さん(河北) H10・6月生

3か月間現場で過ごした後、現在は別の教育を受けています。教育を受けられる事に感謝しつつ、早く現場で活躍できるように努力していきます。

土地に惚れる

職業上さまざまな場所での勤務が多く、私も約1年半の間に3回引っ越しをしました。大変な面もありますが、楽しい面もあります。それは「三惚れ」の1つである「土地に惚れる」ことです。全国各地の美味しい食事やお酒、歴史や文化、伝統、美しい風景に触れることで各地域の良さを感ずることができ、将来的には全都道府県を周ることができたら良いなと考えています。

人を育てる組織 「我が国を取り巻く安全保障環境は…」私が物心付いた頃にはメディア等でよく耳にできました。そのような状況の中で、国防に対し興味を持ちつつ日々を過ごしました。 目指していた防衛大学校に入学した私は、教育だけではなく訓練や校友会活動、学生舎での生活を通して、初めは教育を受ける側として、学年が上がるとつれ教える側として必要な知識や経験を積みました。卒業後、陸上自衛隊に入隊した私は、まず9か月間教育を受けました。ここは幹部自衛官としての資質や基礎的知識および技能を修得する所から、自己を成長させました。



▲大学屋上からの景色。東京湾と富士山を一望できます。